

2024年3月

MITOMI FUKUSHIKAI

三富福社会通信

Vol.20

(社福)三富福社会
広報部 発行

山梨市三富川浦 2203
☎0553-39-2714

<https://www.mitomi-fukushikai.com>



特集：ハナモモホーム設立にむけて

- 白樺園からの地域移行支援
- 各事業所の近況
- 新人職員のグループトーク
- 永年勤続者表彰

etc . . .



3

2024

4月1日の開設を目指して、ハナモモホームの準備が着々と進んでいます。今回は現在までの進捗状況の報告と、建物の紹介をしたいと思います。

特集 ハナモモホーム設立に向けて

令和4年4月に生活介護ハナモモが開所し2年がたとうとしております。三富福社会の中長期目標に、入所施設白樺園利用者さんの移行先であるグループホームを令和6年4月に開所するという大きな目標がありました。それがこの「ハナモモホーム」になります。白樺園の利用者さん10名が入居する事となっております。

ハナモモ（生活介護事業）とハナモモホーム（共同生活援助事業・グループホーム）2事業所は、「ハナモモファーム」という名称にて一体で運営することとなりました。強度行動障害に特化した施設にすると共に、「安心・安全・安らぎ」のある環境を念頭に、当事者が地域で自分らしく生活する事を支援すると共に、1人1人が「心地よく生活するために必要となるあらゆる合理的配慮」を検討・実施する事を基本方針としております。今後とも利用者さんが常に笑顔で過ごす事ができる事業所を目指していきたくて思っております。

生活介護ハナモモ サービス管理責任者
標 昭誠



ハナモモから見たハナモモホーム



南側から見たハナモモホーム



ハナモモホーム

ハナモモ

定員は10名です。
5名ずつの2ユニットになる
ので、玄関が二つあります。

まだ内装は終わっていないけど、ちょっとだけお見せします…

ハナモモホーム内紹介！！



玄関は2つです



お風呂と洗面所



洗面台



各個室の前に共有スペース



個室は6畳ほどの広さです

ハナモモホームの方も通います！！ ～生活介護ハナモモの活動～

ハナモモが令和4年4月に開所してから早いもので2年近く経ち、来年度で3年目を迎えようとしております。地域の利用者さんも、白樺園からの利用者さんも、ハナモモに慣れて毎日楽しく通っていただいております。活動ですが当初より行っている陶芸は利用者さんだけでなく職員も上達しており、現在では外部講師を月に1度招き陶芸教室を開いております。ハロハロー番館の利用者さんも週1度のペースでハナモモに来ており、一緒に楽しく陶芸活動を行っております。農作業についてはジャガイモやナス、キュウリ、カボチャ、ミニトマト、メロン、スイカなどを今年度は栽培し収穫しております。収穫できた野菜や果物は昼食時に利用者さんに提供したり、夏祭りにてスイカ割りを行ったりと大変盛り上がりました。ハナモモホームに移行してくる10名の利用者さんとともに笑顔が絶える事のない事業所を職員一同目指して邁進していきます。【日原】



白樺園からハナモモホームへの地域移行支援について

サポートセンターハロハロ相談支援部
地域移行支援員 吾妻 一予

白樺園からハナモモホームに移行する10名の方は、12月から地域移行支援を利用して準備を進めています。5年前のハナミズキホームの時と同様、まだ建物が建てられていない時期からの地域移行支援になったので、対象者の皆さんへのアセスメント、白樺園担当支援者からの支援の聞き取り、市役所と移行後に必要な制度の相談を中心に支援しています。

白樺園、二番館、ハナモモでの情報共有



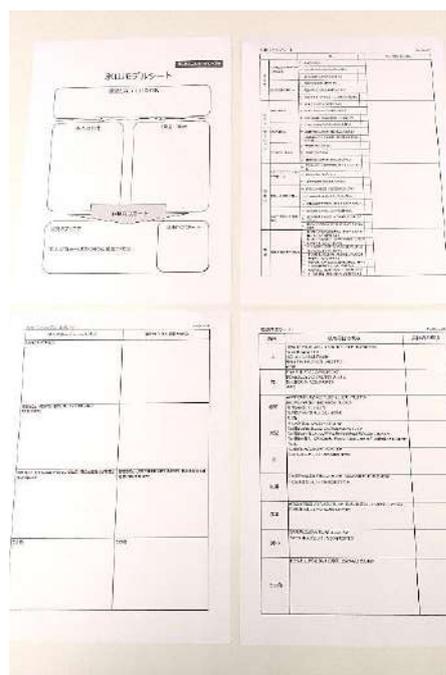
市役所へ移行後の手続きについて確認

地域移行支援とは・・・

“障害者入所支援施設”や“精神科病院”に入所、入院していた方が退所・退院する際に、出来るだけ不安が少なく、スムーズに地域生活に移行できるよう、その人に合ったオーダーメイドの支援を行う相談支援になります。



担当支援者から、移行者お一人ずつの聞き取りと、行動チェックシート等を基にした氷山モデルの作成



理事長より



逆風を逆手にとって

もうじき桜の花の便りが届く季節になりました。毎年桜の花を見るのを楽しみにしています。去年の3月は白樺園が1回目の新型コロナクラスターになり、てんやわんやの3週間を過ごしていました。桜の季節は知らない間に通り過ぎて行きました。今年は信州のどこかで桜とアルプスの残雪を観に出かけることを夢見ています。

令和6年度が始まろうとしています。三富福祉会には逆風が吹いています。一つには職員不足です。新グループホームを開設するために職員を増員する計画でした。しかし新卒の採用は1名のみで退職者が5名出るという結果でした。これでは十分な職員配置が出来ずサービス低下につながりかねません。必要な人員配置が出来なければ事業そのものが運営できません。6年度は各事業の人員配置を落とすこととパート職員を増員することで対応します。

各事業所の運営の仕方も効率よく職員が動けるように変えるつもりです。3か所の生活介護事業所と4か所のグループホームを3グループに集約します。生活介護とグループホームをセットにして入所施設と同様な勤務体制にします。つまり同一グループであれば生活介護・グループホームを横断的に勤務します。各事業が常勤換算で基準を満たすことが前提です。例えば早番職員は6:30にグループホームに出勤し9:00までグループホーム利用者の支援をします。9:00から生活介護事業所に利用者と一緒に移動して生活介護職員として勤務して15:30に退勤となります。このような勤務にすることでグループホーム利用者が正規職員の支援を受けられる時間を増やす事ができます。従来ですとグループホーム勤務は朝と夕方から夜の勤務に分断されているためにパート職員の割合が多くなっていました。

4月からスタートするハナモモホームは強度行動障害の方が半数以上入居されます。日中の生活介護では専門的な知識に基づいた支援を提供し利用者の皆さんが不安定にならずに過ごせることを重視します。生活の場のグループホームではパートの世話人さん中心の支援では対応が困難な場面が多くなると想像しています。法人内の強度行動障害者支援に優れた正規職員数名をハナモモホームに投入しました。当法人のグループホームでは異例の人事です。もちろん昼も夜も休日でも難しい支援を要求されることになるのでグループホームに限らず生活介護でもこの職員たちに活躍してもらいます。だいぶ古い例えばなしですが、国鉄時代に東海道新幹線が昭和39年に開通した時に全国の国鉄職員の中から優秀な人材を集めた故事になりました。

まだまだ逆風は有ります。6年度の報酬改定もその一つです。生活介護が時間単位の単価となります。生活介護事業所に7時間以上滞在しないと報酬が現在より下がってしまうのです。都会ならともかく、山梨のような地方では送迎に往復2時間以上かかるのは珍しくありません。送迎加算は片道210円です。厚労省の人は東京の事業所しか知らないのでしょうか。障害福祉専門官の多くは地方の事業所出身者が多いと思うのですが、やはり財務省に押し切られているのでしょうか。国会議員には課税しないで社会福祉事業にまで消費税を掛ける矛盾は説明してもらいたいです。財務省から徴税業務は切り離さないと日本は滅びます。

他にもいろいろありますが社会福祉事業に係る消費税問題もありました。逆風を挙げればきりが無いし紙面も付きました。危なくなってきましたのでここまでとします。

三富福祉会は前に進みます。この逆風を逆手にとって職員のスキルを向上させて団結力を強めます。



各事業所の近況報告 ~クリスマス会編~



今年度のクリスマス会は、にぎやかに開催することができました。事業所ごとの特色が出ています。それぞれのクリスマスの様子をご覧ください。

ハナモモ



ハナモモは利用者さんと職員、全員参加のカラオケ大会を行いました。一輪車に乗ったサンタをトナカイがひいて登場するシーンもありました。



一番館・プロペラ

一番館はピアノでクリスマスソングを聴いたり、職員の手作りケーキを食べたりしてクリスマス気分を楽しみました。プロペラは光るサイリウムを皆で持って盛り上がり、クリスマスのお祝いをしました。



グループホーム



夕食にオードブルの盛り合わせとピザ、シャンパンで乾杯し、職員の演奏も聴きながら皆さん美味しく食べておられました。最後にケーキを食べていると、そこにサンタが登場！プレゼントをもらい、クリスマスを楽しんでいただきました。

白樺園

山梨大学の合唱団をお呼びしてクリスマスソングを演奏していただきました。コロナ禍以降、久しぶりに来客者を招いての交流となり、利用者さんも笑顔で楽しい時間を過ごせた様子でした。



永年勤続表彰

三富福祉会永年勤続表彰が行われました

勤続20年 相談支援部 日原 和子
 ハロハロニ番館 青山 将

勤続10年 ワーキングベースプロペラ
 坂本 有基
 桑原 知佳



in ホテル春日居

毎年石和のホテルにて永年勤続表彰を行っています。法人職員が一堂に会します。

三富福祉会のブログが

本格的にスタートします

三富福祉会のホームページに「スタッフブログ」があることをご存知でしょうか。今後は日々の支援のエピソード、活動の様子、イベントなどをタイムリーにホームページのブログに掲載し、法人の活動を多くの方に知っていただけたらと思います。

新年度、4月以降に開始していく予定です。本格的に始まりましたらこちらの広報誌でもお知らせしていきます。



今年度の新人職員に一年を振り返ってもらいました 白樺園

●一年目を終えて、仕事に対する変化はありますか？

中澤 一年目は覚えることが多く大変でしたが、仕事に慣れてきて以前よりもご本人に合った関わり方が出来るようになってきたと感じます。

星野 少し気持ちに余裕が出来るようになってきたことで、利用者さんの細かな変化に気が付ける様になってきたと思います。

依田 お一人ずつ個性や性格を知ること、支援方法を学ぶことができませんでした。入職したばかりのころは、目の前の事に精一杯でしたが、少しずつ利用者さんの事を知るうちに、自分に何が出来るかを考えて関わることが出来るようになったと感じます。

●印象深かった出来事(楽しかったことなど)はありますか？

中澤 担当利用者の方に名前を呼んでもらえたことです。

星野 大人数で外出をして利用者さんの笑顔がたくさん見ることが出来た事が良かったです。

依田 白樺祭の時に、担当利用者の方が去年は全く食べなかった食事をおいしそうに食べていたことが印象に残っています。

●二年目への意気込みはありますか？

中澤 頼りになる先輩になれたらいいなと思います。

星野 まだまだ知らない事やわからないことがあると感じているので、一つずつ解決していき、自分なりの支援を確立していきたいです。

依田 周りに迷惑をかけないよう、さらに責任感を持って仕事に取り組んでいきたいです。

長澤 二年目職員として、利用者さんの事を第一に考え、臨機応変に対応できる支援者を目指していきたいです。



人材開拓 project

管理部長（採用担当）
佐野 毅

ふくしのしごとは無数の可能性

福祉の仕事を目指す学生さんたちの話を聞いていて最近分かったことは、今彼らに人気がある分野は「児童分野（放課後等デイサービス）」や「通所系分野」への就職が圧倒的に人気が高いことが分かりました。それは言い換えれば、24時間365日の「入所系」（入所施設やグループホーム）への就職は人気がない、ということにもなります。今、「ワークライフバランス」が声高に叫ばれていて、「仕事も大事だが、自分のプライベートの時間も大切にしたい」と思う人たちが増えているということでしょう。しかし、福祉の分野には24時間365日のサービス提供を求める大勢の利用者さんが私たちの支援を待ってくださっていることも事実です。これからは「働き手」のワークライフバランスを保ちながら、いかに効率よく24時間365日のサービス提供を維持、継続していくかを念頭に置きつつ、この仕事の魅力、尊さを発信し続けていかなければなりません。福祉のしごとは無数の可能性を秘めています。来たれ、熱き情熱を持った若人たちよ。私たちと一緒に無数の可能性を追求してみませんか？



【採用に関するお問い合わせ】

☎ 0553-34-9200 三富福祉会・採用担当まで

後援会費について

令和5年度も当法人の取り組みにご理解を頂けるようでしたら後援会費と言う形でご貢献を賜りたいと存じます。

※後援会費の振り込み用紙を同封いたします。
皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。
(事務長 矢崎)

<職員募集中!!>

生活支援スタッフ（資格不問）

（社会福祉士、精神保健福祉士あれば尚可）

看護師、栄養士、ヘルパー

（詳細は、採用担当までお問合せください。）



☆表紙作品紹介☆



気が付けば冬は少しずつ影をひそめ始め、暖かな陽気が日に日に増してくるようになりました。春の息吹はもうすぐそこまで迫ってきます。春になれば、たくさんの「新しい」に出会うことになると思います。そうした出会いは新しい刺激となり、より生活に楽しみを加えてくれることと思います。当法人も新たな挑戦の年となります。その先に、この表紙の桜のように楽しさと笑顔の花が咲き誇っていることを思い描いていきたいですね。【丸山】



三富福祉会通信 Vol20!!

今回は三富福祉会に新しく仲間入りをするハナモモホームの進捗状況の特集しました。開所に向けて日々準備をしています。移行する方々は白樺園での生活から、今度は新たな地域生活が始まります。利用者さん、支援者それぞれ不安と期待もありますが、利用者さんの笑顔や可能性が広がってほしいと、職員一同頑張っていきたいと思っています。

広報誌も今回で20号目となりました。これからも年3回、皆さまに三富福祉会の情報をお届けしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。【青山】

広報部委員：吾妻、日原、青山、丸山、朝倉、寺田